

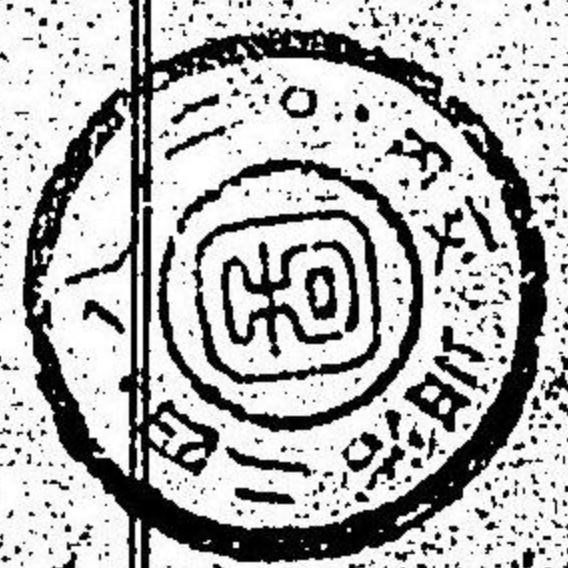
150

151

永井龍潤著

法
花

廣島末田書肆



015940-000-1

特16-260

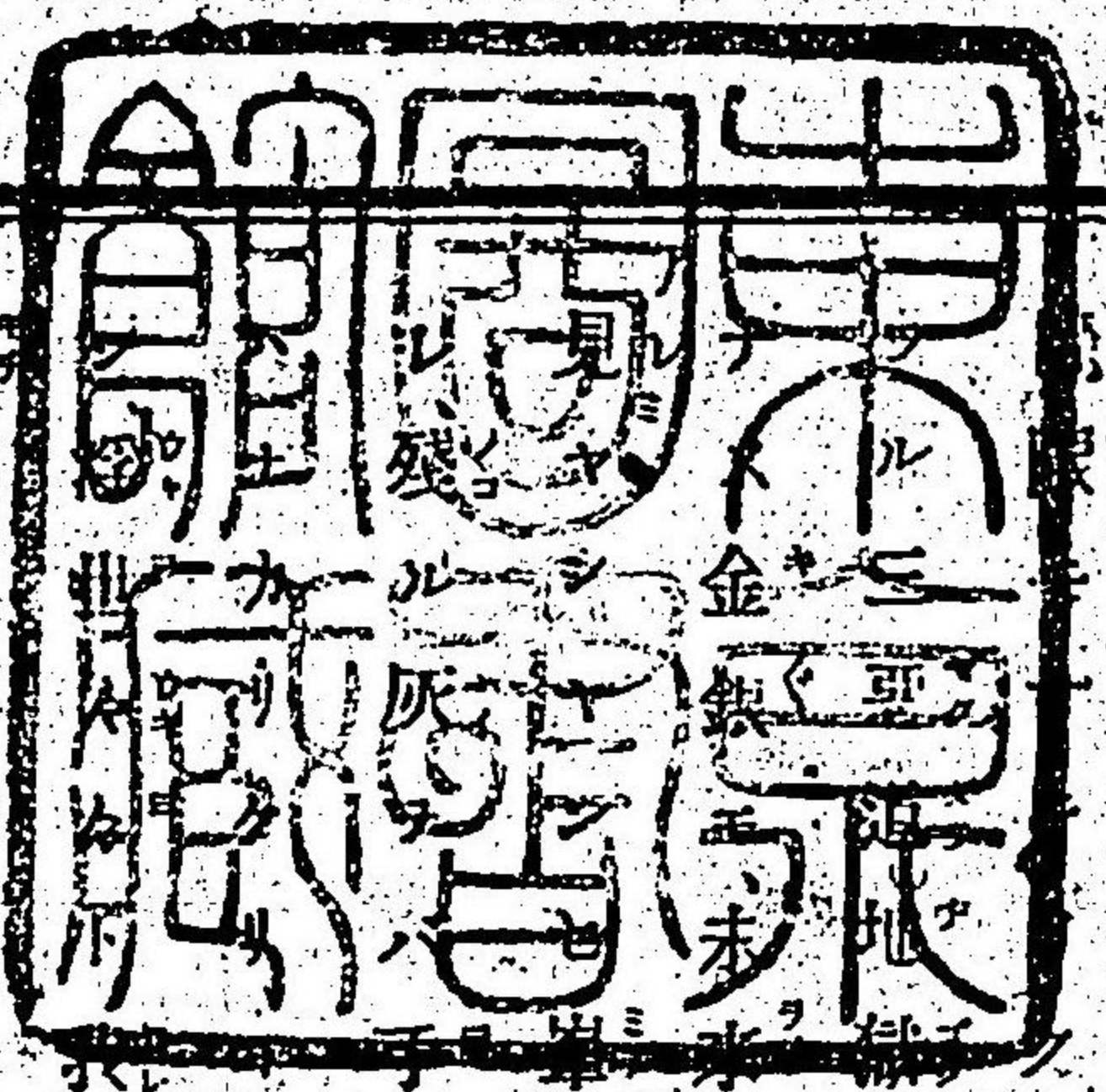
法の花

永井 龍潤/著

M24.8

ABC-1762





○我世誰ゾ常ツなクしヒ

此ハ氏ノ著ニ係

色ハニホヘドナリヌルナ我世モタレゾ常ナラ
ヲ求メタル秦皇漢武モ今ハナレ限リアル身ヲモ
オコシトシテ火ニ入ルナツノ虫又モヤホ



ノサタモ金次第金ハ世界ノ寶ゾト積ルデル
ノ松ノ松ノ今ハ色カワリ薪トナリテ火ニ燒ル
ノ取リテ松ノ相ノチノダノヅノトノモノ元ノノノスノガノタノ

人ハイヘドウキ世ハシラヌナリシラスデ
レゾ浮世ノ有ル松トサトリテ見レバ浮世ナ
持ルタルヨクトクグチノクトクチノガカタマリテ迷ルノユメチムス

スブナリユン又サメテマダユメムユメニユメ見テユメア

ソビ。見ルモ見ラルモユメノウチ。サメテアトナキ明ケ鳥阿
房々々トナキ渡ル。鳴呼ハカナキ世ノ中ヤ。嗚呼味キナキ浮世カナ一夜アクレ
バキモハル。新玉年ノ梅ノ花。サキモ揃ハヌソノ内ニ風
フカレテチリオツル。山ノ狭昇ル秋ノ月。圓モカゲテ暗トナ
ル。冬籠スル庭ノ雪。キヘテ跡ナキ飛鳥川。逝テ歸ヘラヌ水ノ
瀬チ。舟ニ棹シサカノボル。甲斐モナク。物思ヒ。思フマサ
ヘモナツノ夜ノ短カヒイノチキヘウセヌ。天トゾ秋ノ初雁
モ。オグレサキマツ世ノナライ。イサレバ朝ノ紅顔モ。夜半ノケ
ムリトタチノボル。夕トヒ項羽ノ勇アリテ。孫吳ノ秘術ニ長
ズルモ生死ノテキハフセガレズ。弓術ニ長ズ秀郷モ。無常ノ
アダハフセギ得ズ。遂ニ冥土ノ客トナル。清盛サンシヤナケ

レドモ。グレカ、ル日チイトオシミ。イグラマ子クモカヘル
ベキ。マシテフ定トキクカラハ。顔回サンモハヤク。死ヌ。長イ
キ出来ル事ナレバ。スルモ思フモマ、ナラメ。蜂蝶モ胡蝶ニ
マサルラン。權モ七日サカユレバ。サグラノ花ニマヌナガメ。
イロハニホヘドチリヌルチ。ワガヨモタレゾツチナラム。ウ
キノオク山三塗川。ドコニヨルヘモ荒磯ノナミニユラレル
捨小舟ナキツサケビツマダ迷フ。アラ怨野ノ浅茅艸。ナキノ
ナソダノツユモキヘ。虫ノ音バカリ残ルラン。アワレチコ、
ニ吹オクル。ムシヤウノ風ノフカヌウチ。用心スルコソ人ナ
ラヌ。世ハサマ。トイフガ山ノ人チダスル琴平ト。イノル
甲斐ナキ死ノヤマイ。生死ノ灘ハアレヤマヌ。グチナ祈リチ
スルウチニ。ムナシク死ナバドブナサル。

无常ノ理

永井龍潤講話

一回

武田大寶筆記

花ノ露吸フ春ノ蝶ハ蜘蛛ノ網ニ用心シ草ニ棲ム秋ノ虫ハ
 籠ヘ入ラジト音ヲトイム虫デサヘ物ノ用心チナス人ニシ
 テ虫ニマケテハ万物ノ靈長タル甲斐ハナヒコト人タルモ
 ノハワケテ物事ニ用心セニヤナリマセン實ニ用心ハ安心
 ノ法デアリマスナレド淺基ナ用心ハ用心シナガラモヤリ
 ソコナヒガアリマス彼虫ハ用心ハスルモノ花ノ露ガ吸
 ヒタカツタリ飛アルキタカツタリ欲ニ目が見ヘ又故ニ得
 テシテ災害ヲウケマス是等ガ淺基ナ用心デアリマスソ
 ナラ其深キ用心ト云ハドナ用心カト申セハ
 有ル時ニ無時ヲ思ヒ

盛ナル時ニ衰ヘル時ヲ思ヒ
 現在ノ時ニ未來ノ時ヲ思ヒ
 平常ニ無常ノ事ヲ思ヒ

何事ニモ油斷セズ近欲ニ趨テ遠慮ヲ失シナハ又様ニスル
 ノガ深キ用心ト申スモノ
 御互ニ虫ノ様ナ淺基ナ用心ハナラハ又コトデアリマス語
 ニ曰生死事大无常迅速ト何が大事カト大事ト申シテモ生
 死ヨリ大事ハアリマゼン御互ニ无常迅速ノ道理ヲキマ
 へテ大事ヲ取リソコナハ又様ニ致シタヒモノデアリマス
 諸其无常ト申スハ常ナシト讀文字デ世ノ有爲ノ法ハ常ニ
 變化シツアルモノデ一物トシテ常住ナルモノハナヒト
 云コトデアリマス若シモ世人中ガ常ナルモノナラ思ウコ

トマニモ成リマシヤウガ浮世ノ有様ハドウモツウ云フ
 ワケニハ参リマセンソコテ惠燈大師ハ人間ハ不定ノサカ
 ヒナリ極樂ハ常住ノ國ナリサレバ不定ノ人間ニアランヨ
 リモ常住ノ極樂チチガウベキモノナリト仰セラレタ誠ニ
 此世ノ中ハ常ナラヌモノバカリテ高キ山ハ谷トナリ深キ
 海ハ陸トナリ鐵ノ堅キモ虫ニ食レ石ノ固キモ微塵トナリ
 富ハ貧トナリ若キハ老トナリ達者ハ病人トナリ會ハ必ズ
 別アリ盛カレハ必ズ衰ヘ生アレハ必ズ死アリ盈シハ虧ル
 アリ樂ハ苦トナリ喜ハ憂トカハリマヌ常ニ若クテ達者テ
 死ナズニ榮耀榮花ハ誰モ好デモ月ニ叢雲花コハ嵐ハ人ニ无
 常ノ風アレハ思フ事マニナリマセヌ故ニ古人ハ譬ヘテ
 此世界ノ脆コトハ薄キ水ノ如ク其破レ易キ事ハ芭蕉ノ築

ノ如ク其遷流コトハ流水ノ如ク其ノ迅速コトハ奔流ノ如
 シ其定當ニナラヌコトハ幻ノ如シ夢ノ如シト申サレマシ
 タ何故ニ世ノ中ハ无常ナモノデアルカト申セハ世ノスベ
 テノモノハ皆因縁ニヨリテ出来タモノテ出来タ始ガアレ
 ハ滅亡ノ終リガアルカラデス且ツ時ト云モノハ常ニ新陳
 代謝スルモノデ時ノウツルニ隨テ其物が念々生滅ト片時
 モトユミナク代謝遷移マス是レ即チ天地ノ真理デアリマ
 スレハ誰レモ之ヲウゴカスコトハ出来マセン
 斯ク御話シスレハ無常ト云言ハイヤナ事バカリニ聞ヘマ
 スガイヤナ事バカリデハアリマセン好事コモ使ル言テ
 アリマス
 智慧ガ進ダトカ藝ニ達シダトカ子供ガ成長シダトカ

修行シテ段取チ次第々々登ル下ガ
 云ガ如キハ好无常デアリマス然ルコ多クノ人ハ无常ト云
 ハイヤガリマスガ是バ至ク理非チ辨ルヲ心ガ恐怖ノ心
 ニ奪レテアルカラデスナンボイヤチ事バカリニシタ處ガ
 誰モノガルル事ノ出来ナヒノガ无常デアリマスイヤデモ
 應デモ何レニ度ハ誰シモ无常ノ大風ニサソハレテ未来ノ
 旅路ヘ往チバナリマモソ漢ノ高祖ノ三尺ノ劍モ无常ノ怨
 ハ防クコトハ出来關羽ノ舞モ生者必滅ノ匪チトクコト
 ハ出来又臥龍鳳雛ノ智モ无常ノ風チ避ルコトハ出来又夏
 ノ禹王トテモ三塗ノ川ノ水ハ治ムルコトハ出来又トビ
 項羽ノ勇アリテ孫吳ノ秘術チ振トモ劍ノ山チ振取ル事ハ
 出来又戰ヘハ必ズ勝チ攻レハ必ズ取ル韓信モ自身チ攻ム

ル鬼チ打取ル事ハ出来又ナボレオシホ下ノ英雄トテモ時
 小命トハ如何モスル事ハ出来又サレバ如何ニ化學チ應
 シテモ无常ノ風チ常住ト變化シムルコトハ出来マセン試
 ニ見ラレヨ死ナヌ藥チ求メタル秦ノ始皇ト漢ノ武帝ハ今
 尙生キテ居マスカ秦ノ始皇ハ五十才ニシテ死シマツ
 テ塚ノ中ニ埋メラレタルニ非ヤ漢ノ武帝ハ七十二歳チ一
 期トシテ死シテ名ノミ殘ルタルニ非ヤ
 聞ヨ佛説長ヨ无常上ハ大聖世尊ヨリハシメテ下ハ惡逆ノ
 提婆ニ至ルマデソカレガタキハ无常ナリ達者ナトテ死ハ
 ノガレヌ會バ別ノ世ノ株ヲ積カサチタ財貨モ要ズ散ケル
 例アリ妻子珍寶及王位臨命終時不隨者兼子テ頼オキツル
 妻子モ財貨モ死ニ往チキハ跡ニ殘シテ獨スゴク未來ノ

旅路此ノ道理ヲ能ク辨テ、无常ノ風ノ來タ其時ニ、アハテ又
様ニ用心スルコトデアリマスサレバ、无常ヲ知テ、无常ヲ恐
レ、无常ヲ恐レテ、无常ヲ覺リ、无常ヲ覺テ、无常ヲ恐、又身ニ成
テ、人間ノ世渡、アリタヒモノデアリマス、

二回

今晚ハ刹那生滅ト、壞滅ノ无常ト、云コトヲ御話致シマス
刹那ト申スハ、時ノ極短コトデ、生滅ト云ハ、生起リ消滅タリ
ト云コト、此身ニ付テ云ヒマスレハ、此身ハ前滅后生ト、須臾
モ休ミナク、移リカハリテ、生起リ消滅タリシツメデアリ
マス、此ノ有様ヲタトヘテ申セハ、川ノ流れノ様ナモノデア
リマス、アノ川ノ流れハ、一筋ノ水ニ見ヘマスレド、能クヨク
見マスレバ、一滴一滴ガ相續テ前ナル滴ハ、后ナル滴ヲ導キ、

后ナル滴ハ、又其后ナル滴ヲ導キ、互ニ相續テ、流レルソデア
リマス、決シテ一筋ノモノデアリマセン、切レギレシモノ
ガ、相續テユクカラ、一筋ニ見ヘルノデス、乃テ若シ前ナル滴
ガ、后ナル滴ヲ引ズ、后ナル滴ガ前ナル滴ニツキイテ、往カヌ
時ハ、川ノ水ハナクナリマス、我々ノ身ガ、恰度斯様ナモノデア
アリマスカラ、昨日ノ身ト、今日ノ身ハ、モウ違テ居マス、ソレニ
コウシテ居マスノハ如何ナル所以デアアルカト申セハ、連持
相續ト申シテ、因縁ノ理ヲ以テ、相續テ往クカラデアリマス、
若シモ出ヅル息ガ、入ルチマタヌ其時ハ、ソレコソ大變、此世
ノイトマ、コレヲ壞滅ノ无常トモ、无常ノ大風ニ逢ウトモ、人
ノ死ヌルトモ申シマス、此レハ人ノ身バカリデアアリマセ
、山ヤ川ヤ草ヤ木スヘテノ物ニマデアアル理デアリマス、然

ニ外道ハ我及ビ世間スベテノ物ハ皆實ニ常住ナルモノト申シマス、尤モ外道ノ中デモ、或ル外道ハ、无常ト云コトハ申シマス、レ下、物ノ隠レタリ顯レタリスル、變化ノ有様ヲ申スノデ、イハハ、轉變ノ无常ニ當リマス、ソレモ充分ナ説明シハシマセシ、マシテ物ガ滅スルト云コトハナヒト申シマスニ於テハ、ヤハリ物ハ常住ト思フ、迷ヒノ説デアリマス、佛教ニハ有爲ノ法ハ、タトヒドシナ微ナモノデモ、因縁ニヨリテ出來タモノハ、刹那生滅ト時々刻々ニウツリカハリテ、遂ニハ壞滅无常ト云フナクナルモノト立テマス、ソコデ仁王經ニハ、諸法ハ縁ヨリ成ル、皆空ナリト説カレマシタ、然ルニ凡夫ハ、愚ニシテ此理ヲ知ラズ、常ニ幻ノ中ニ在テ幻ナルコトヲ覺ズ、常ナルモノ、様ニ思テ居マス、是ヲ以テ佛様ハ、幻ガ幻ヲ

見ルト御説ナサレタ、

又法華經ニハ世皆固カラザルコト水ノ泡ノ如シト説レ、仁王經ニハ須彌モ巨ナル海モ何ニモ滅ス何況ヤ此身ヲヤト申サレ、又ハ形ニ常ノ主ナシ神ニ常ノ家ナシ形ト神ト離シナバドコニ國ガアルカト申サレマシタ、誠ニ御尤ナ御言デアリマス、ヒキシメテムスベハ柴ノ庵カナトダレハモトノ野原ナリケリトハ因果ノ規則デアリマス、レハ何一トシテ壞レザルモノナシ、御互ニ斯ノ居ル内ニモ、死王ト居ル様ナモノ、念念ニ无常至リマス、レハ早クモ疾モ後生ノ一大事ヲ心ニカケテ、三惡道ヘ往ヌ様ニ致サテバナリマセヌ、コトヲ以テ惠灯大師ハ、イヅルイキハ入ルチマダヌナラヒナレハ、命ノアル内ニワカラヌコトアラハ、問ヒ尋テハヤク安心ナ

頂ケキ、今ニモ无常ノ風ガ來タナラ、死ニタクナウテモユカ
ニヤナランホドニ、後悔ノナヒ様ニセヨト、御子ノゴロニ御
諭クダサレタ云云、

第三回

今晚ハ轉變ノ无常ト云コトヲ、御話致シマス、轉變ト申スハ、
何カナシニ物事ノウツリカハルコトヲ申シマス、コレニ二
種アリマス、一ハ進ム方ノ无常、一ハ退ク方ノ无常、是ヲタト
ヘテ申シマスレハ、いヨリろ、ろヨリハト云様ニ、進デ往マス
ル如キハ、進ム方ノ无常デアリマス、十ノモノガ九八七六五
四三二一ト云様ニ、ウツリカハリテ行キマスルガ如キハ、退
ク方ノ无常デアリマス、進ム方ノ无常ヲ發達ノ无常ト申シ
マス、退ク方ノ无常ヲ退轉ノ无常ト申シマス、此ニハ善事ニ

モ惡ヒ事ニモ、カケテ云ハレマス、人ヲアゲテ御話致シマス
レバ、秀吉ハヨキ方ハ發達、惡方ハ退轉タカラ、太閤ト云ハ
ルル様ニナレタノデス、五右工門ハ惡シキ方ハ發達、善方
ガ退轉カラ、盜ノ大將ニナリタノデス、物事若シ常住ノモノ
ニシテ、一步モ進ミモ退クモノデアルナラバ、泣事モ笑
ウ事モ辛抱スル事モ勉強スルコトモ入りマセン、又甲斐ノ
ナヒコトナラセヌガ宜シ、畢竟无常ノ理カアラハコリ、草履
取リテアリシモノガ、太閤様ト云ハルルヤウニナレタモノ
デス、ソコデ辛抱モセニヤナラヌ所以、斯ク御話致シマス
ハ、无常様ト申シタヒ様ニナリマシタラウ、ケレドモ无常ノ
使様ガ惡ヒト、五右工門ノ様ナ事ニナリマス、彼ヂヤトテ生
レダチカラサウ惡ハナカツタデシヤウ、ソレニ盜ノ大將ト

云ハルル様ニナリマシタハ、全ク无常ヲ忍ク使タカラデス、
 若モ五右工門カ盜ノ勉強セズニ、此勉強ヲ武士ノ道ニ入レ、
 辛抱シタラハ、太閤カンヨリ、上手ヘイツテイタカモワカリ
 マセン、悲ヒ事ニハ、无常ヲ能ク使ヒマセヌヘ、其罰トシテ
 此世カラナル地獄ノ責苦ニアウテ死ニマシタコレモ、无常
 ノ風ニサソハレタ有様デス、斯道理アリマ、スルカラ、私ハ先
 夜モ、无常ヲ知テ、无常ヲ恐レ、无常ヲ恐レテ、无常ヲ覺リ、无常
 ナ覺テ、无常ヲ恐レヌ様ニスルカ肝要デアルト申シタノデ
 ス、轉變无常ト云御話ハコレデ置キマス、一寸休憩シマシテ
 生住異滅ト云ニト御話致シマス
 生住異滅ト云コトハ、世人中ノスベテノ物ハ、此四相ヲノガ
 レルコトハ出来ヌト云コトヲ知ラセルニトゾデアリマス、

一ニ生ト申スハ、生起トツ、文字デ、物ノ出来タリ生レタ
 リスルコトヲ申シマス、二ニ住ト申スハ、止住トツ、文字
 デ、物ノトマツテ居ルコトヲ申シマス、トマルト申スハ、
 出来タモノガナクナラズニ、其相ヲ守テ居コトデアリマス
 三ニ異ハ、變異トツ、文字デ、物ガウツリカハリヤブレテ
 ユキオアル有様ヲ申シマス、四ニ滅ハ、滅亡トツ、文字デ、物
 ノホロビテ其相ヲ失テシマウコトヲ申シマス
 コレチタトヘテ申シマスレバ、此机ヲ御覽ナサヒホデアツ
 タモノガ、大工ノ力ヲ以テ、板ニシタリシテ、ソシテ此ナ形ガ
 出来マシタ、コレガ生起ト云モノデアリマス、ソシテ机ハ机
 ノマ、テ斯シテチヤントシテオレチ、机ガ住シテ居ルト申
 シマス、如此机ガ、机ノ相チマモリ、チヤントシテアル内ニモ

時々刻々ト變化ツ、次第々々ニヤブレニ近マス、コレチ机ノ異相ト申シマス、御覽ナサヒ出來初ト今日ノ机ハ、モウ異テ居リマシヤウ、コレガ物ノ非常ナル有様デアリマス、ソコデツイニハ机ノ相モ形モナクナリマス、コレチ机ノ滅スルト申スノデアリマス、此四チ人間デア申セハ、生ト云ハ人間ニ生レルコト、住ハ人間ニ住シテ居ルコト、異ト云ハ若ヒ物カ時々刻々ト年取テ老年ニナツタリ病氣シタリスルコト、滅ト云フハ體ト心ト神カハナレテ死ヌルコトデアリマス、乃テ人ニハ四苦ガアルト説カレマシタ、四苦ト申シマスハ、ムマルトキノ苦デアリマス、十月ノ間、母胎ニ處リ血ノ肉ニマシハリテ、苦ミ月満期限來リテ、始メテ生ル、時頭ベチサカサマニシ身チナ

メテ、出ツ一切ノ骨節ノブルコトハ出來ス、其苦痛ニヨリテ、前生ノコト皆忘ルトノコトデアリマス、二ニ老苦デアリマス、月日速クユキ盛ナルモ、ツイニ衰ヘ、形ハ月日ニ枯木ニヌル紙ノ様ニナリ、鏡ニウツル影ニ向ヘハ、知ラヌ人ニアヘルカトウマガヒケヌキニミテルシラガチ數フレハ、今朝ハ昨日ヨリモオホシ、今霄ハ風呂ニ入トテ、裸ニナレハチリメンジハデ、腰ハカハシテ、力弱テ、春ノ柳ニ似タリ、睡リ早クサメテ、夏ノ夜チノコス、現在生シ我子ニサヘキラハレ、愚痴ハナヤマス、是レカ老ノ苦デアリマス、シカシ老少不定ハ此世ノ習ヒナレハ、皆々老ニナリテ死ヌルト云コトハ、イハレマセン、三ニ病ノ苦デアリマス、人ノ身ハ地水火風ノ四大テ出來タル身デ、或ハ酒ヲスゴシ、或ハ食物ヲスゴシ、或ハ色欲ニフ

ケタリシマスト、四大ガ調ズ終ニハ病トナリ氣力ハ弱ク成
 テ飲食ハ思フ様ニユカズ寐タリ起タリスルニモ手足ガ自
 由ニ働カズ後ニハ他人ニ助ケラレテサヘモ起居モ出來
 ス様ニナリ身モ心モキヘキル計ノ苦痛ヲ誰シモ一度ハ受
 ケニヤナリマスマヒソモ、此身ハ苦痛ノ集レル不定ノ
 身ナレハ病ハノガレラレヌ病ハ死ノ因トモ云ハハ其苦ミ
 ハ筆ヤ語デ盡クサル、モノデハアリマセン、四ニ死ヌル苦
 デアリマス、息切命終ノ苦ハ、劍ヲ以テ喉ヲツカレ、刀ヲ以テ
 形ヲ割ヨリモ尙ツラキトノコトデアリマス、諸君ヨ諸君ヨ、
 海ノ水モ常ニ滿マセヌ火盛ナルモ久シク燃マセヌ月出テ
 須臾ニカクレ月滿テ復缺クル今日アリテ明日ハナキ身ニ
 ナルヤモ知レヌ、風ニオツル葉ノ身草露ノ命デアリマスレ

ハ、愛欲榮華ツ子ニタモタレマセヌ、光常ノ風ハ誰ニモ遠
 慮ハシマセヌ、今ヤ來タラント其カマヘニソ用心ノ第一
 デアリマスレハ、コレニツケテモ速ニ後生ノ一大事ヲ心ニ
 カケテ彌陀ノ願方ヲ信シ安養ノ往生トケラルヘキコトテ
 アリマス、

四回

今夜ハ大雨ガ降テ道ハ惡オマケニ眞黒闇デアリマス、ニ
 御イトヒモナク能コソ御來聽ナサヒマシタ、ニレニソマコ
 トニ佛法ノ心ガアツヒト申スモノ、速如椽ノ歌ニこのたび
 は迷悟のわけめなりあつささむさむいどふべきかは誠ニ
 後生ハ一大事トヒ大千世界ニミテラシ火ヲモスギユキ
 テ迷テ道ヲ尋チ求ベキニトデアリマスレハ、アツササムサ

モイトフベキカハ、雨フラパフレ、風吹バ吹ケ、此世ノ雨ハ物
 數カハ、今モ无常ノ風ニサソハレナバ、未來ハ長キ迷ノ間
 路、落ダガ最後ウカム瀬モナヒコトデアレバ、今ノ内ニ食ル
 モノハ食ズトモ、後悔セヌ様、セニヤナラヌ况テ老ぬれば心
 かたちもよはり行、後世のねのひも若うち也御互ニ若内ニ
 イソギテ後生ノ一大事ヲ決定セテバナリマセン
 借先夜己來拙无常話致テ來マシタガ、コレハツマリ後生ノ
 一大事が話タカツカラデス、依テ今夜ハ後生ノ一大事ヲ
 御話致マシヤウ和語灯ニ行末モ危カラズ往生タノモシキ
 ホド思シメシ定メサセ御坐スベク候、詮ジテハ人ハハカラ
 ヒ申スベキコトニテモ候ハズ、ヨクヨク案ジテ御覽候へ、此
 事ニスキタル御大事何ゴトカハ候フベキ、三ノ世ノ名聞利

養ハ中々申シナラブルモイマシク候ト、云テアリマス、
 之ヲ平ク申セバ、一大事ト申スコトハ、信ズレハ悟リ、信セザ
 レハ迷ト云場合ハ、亦ト二ナキ大事デアリマスルカラ、後生
 ノ一大事ト申シマス、然ニ我々ハ急ヒデモヨイ小事ハイソ
 キ急ニヤナラヌ後生ノ一大事ハトカクナゲヤリニシマス、
 乃テ慈鎮和尚ハ歌ニみな人の知りがほにして知らぬかな
 かならず死ぬるならひありとはトイハレマシタ、又蓮如上
 人ハたゞ今生をばいつまでもいさのびんするやうにれも
 へりあさましき次第にあらすやト仰セラレマシタ、又古キ
 歌ニかへりてぬ身のむかしをば忍ぶもまよはん後の世を
 ばなげかすトアリマス誠ニ尤ナ語デアリマス、御互ニアヤ
 ウキ身消ヤスキ命无常ノ世界ダ、後生ハ一大事ダナドト、申

シハスルモノノ、ヤツバリナゲヤリニシマスガ、コレハ知テ
 知ヌ、思ウテ思ハヌトイフモノ、今マデハ、ドウナリ、コウナリ、
 スンデ来マシタガ、本ニ胸ニ手チアテカンガヘテ見マスン
 バ、ソヲ恐シキコトデアリマス、ウカ／＼シテハ居ラレマセ
 ヌ、蓮如上人ハ(るてんして又あひがたき御法なりれるるか
 にさく人ぞかなしき)ト御嘆ナサヒマシタ、諸君ヨ、无始已来
 ノ迷ノウチドメハ、唯今生ニ在マスゾ、凡夫ガ佛ニナルハ今
 此時デアリマヌゾ、(ちりてから開る法の花もなし无常の風
 のふかぬまに／＼)我等ガ今度ノ一大事ノ後生、御助候ヘト
 シカト、彌陀願力ノ不思議ヲ信シテ、日日近ル淨土ノ果報ヲ、
 待受身ニナリテ、先ダノモシク、世渡セラレヨ、(さだめなさう
 き世の中に定まるはみだたのむ身のさとりなりけり)

諸其彌陀タノムト申スハ、モロ／＼ノヨシナキ自力ノ心ヲ
 フリステ、唯一心ニ助ケ救ノ佛勅ヲ、聞テ疑ヌヲ、タノムト
 モ、マカストモ、信スルヒ、スガルトモ、申スナリ、是併ナガラ、凡
 夫自心ノ發起ダハアリマセンソコデ蓮如上人ハ(南无)二
 字十八願、(かなめなり、たけむて、ろはたまはり)にけりト
 モ(き)も法も南无阿彌陀佛のうちにありわの機を流る人ぞ
 あやうき)トモ仰セラレタ、サレバタノマセテ、タノマレタマ
 ウ彌陀ナレバ、アイヤコイヤノ心配マ、アレデコレノハカ
 ラヒチナサスコトデアリマス、佛智ノ不思議トキクカラハ、
 智恵モ入ラス、才覺モ入ス、仰セノ儘ヲ聞得ルガ、スグニ其儘
 他力ノ信心デアリマス、詮ズルトコロハ他力不思議ノ御イ
 ハレテ、如法如實ニ聞得サセテ頂命ノ一念マコトナレハ、

我等が今度ノ一大事ハ後生ハ如来ノヨキ御ハカラヒニテ、
 間違モナク西方極樂ノ華ノ臺ニ往生サセテクダサル、コレ
 が信心正因ノイハレデアリマス、コレデ未來一大事ノ用事
 ハスミマスト申スモ、コノウヘナラハ、ガ、ル身ヲ助ケ玉
 ノノ嬉シサチ常ニオモヒ喜ビ、ヨシアシノ心ニツケテモ御恩
 ノ稱名稱ヘツツ、人間ノ世渡チホドヨクナシテ、近ヨル浄土
 ノ大果報ヲマチウケラル、バカリナリ、元來、真宗ノ御教ハ
 眞俗二諦ノ御教ナレハ、カヘスガヘスモ、トリッコナヒノナ
 ヒ様、御注意アラシユトテ龍潤謹テ希マセ、
 ○
 世にも希有なる御教は、弘願他方の御法なり、不思議の中に
 不思議なは彌陀の誓のいはれなり、いかなるものも一寸ち

は、たのめばたすぐれとさしとよびかけ玉ふの聲は、若不
 生者のまごとなり、不取正覺の誓願は、私心への御慈悲ぞと、
 聞けた信の一念に、光明攝取とれさめどり、生命され眼とち
 ぬれば、瞬間ひまに往生し、花の臺にのせ玉ふ、是を他力の不
 思議なり、他力不思議とさくからは、已がはからひ无益なり、
 善も悪も願す、彌陀たのむて、他力なり、智慧才覺も入らざ
 れば、願や行はなほ入らぬ、一文不知の尼入道、此身此儘まか
 すべし、まかすと云はたのむなり、たのむと云は南无の二字、
 南无は歸命と譯すれば、彌陀の命に歸するなり、されば歸命
 は他力なり、至心信樂欲生と、他力回向の賜ものを、其儘直に
 うぐるなり、うぐる心の其相は、水火の二河もかへりみず、來
 びよ來れの喚聲を、聞て安心するばかり、これを六字のいは

れなり此六字をば誰がものと思ふて居るぞ我友よ本爲凡
 夫の御法なり人の物とは思ふまじ各我身にひきうけて能
 あきらかに聞得べし若しも御法がなくなれば渡に船のな
 きごとく生死の苦海をいかせんされば和讃にの玉はく
 往相還相ノ廻向ニマウアハヌ身トナリニセバ流轉輪廻
 モキハモナシ苦海ノ沈淪イカセシ
 往相廻向ノ大慈ヨリ還相廻向ノ大悲ヲウ如來ノ廻向ナ
 カリセバ淨土ノ菩提ハイカセシト
 誠に遇がたき御法なり誠に聞きがたき仏法なり希にもあ
 ひし人々は虚心无我によく聞よ聞けは聞はぞ唯の唯聞良
 ごとくに難有し耳なれぬれはいやましに法の御味は深くな
 る味氣なき世に味あるは滋味をたしむ人ばかりねてもさ

めてもへだてなく憶念の心はたねぬなり嗚呼うれしやよ
 ろてはし何因何縁いかなれば屠沽の下類の此者が超越成
 佛するぞかし菩提利華とは已のこと枯木に花とまうり
 うの泥田に蓮とたとへんか誠よ火中よ蓮ノゴトクナリか
 仕合得しうへはねてもさめてもへだてなく南天阿彌陀佛
 をとなへつゝ如來の大恩報すべし此御ことばりさゝねた
 は見真大師の恩恵なり相承知識の御蔭なりされは師徳を
 あらむべしされば有縁の同行者佛祖の冥慮をのんがみて
 國の捉を能守候ゆめく怠ることなあれ

漫 錄 此漫錄ハ永井龍潤氏ノ嘗テ物セシ
 身ハ是レ雪塊ナリ四大概リニ合ヒ聚テ身ト成ル病バ痛傷
 腫バ爛壞テ膿血ナガルコノ日ステニ過グコノ夜ステニ往
 ク无常ハ鬼ハ我ヲ追コトシキリナリアダシ野ノ露アシタ
 ニモキエエフベシモホツ我ヤサキ人ヤサキ今日トモ知ズ
 明日トモシラズ石火電光ニ寄セタル此身ナレハ今ニモ死
 セシソノ時ハ燒ケバ灰トナリ埋ハ土トナル宮室高ヲ求ム
 ベカラス衣服綺羅ヲ求ムベカラス飲食珍味ヲ求ムベカラス
 車馬輕肥ヲ求ムベカラス聲色美麗ヲ求ムベカラス日用ノ
 事ハ其度ヲ量之テ節ニシ生涯ヲカロクシイキテアランコ
 ト今日バカリ只今バカリト眞實ニ思ヒ思テ三惡ノ火境ハ
 足下ニアルコトヲ忘ルベカラス眞實ニ我が愛ユクバ後

世ノ大事ヲ取ソコナハヌ様ニスルコト夏分別ナリサレ
 バトテ世ヲ厭ト教ルニハアラズ唯ニロバ先ノ杖ヲ持ト
 身ト思ハズシテ物ノ蓄チナスベシ是ヲ吾宗ニ所謂俗諦門
 ノツハシニナリ然ニ後世ノ大事ハ油斷ニテ取ソンズルモ
 ノナレハ臨終ヲヒキモテ求ムベキモノナリサレバ古歌ニ
 目後の世とさけば遠に似たれともしらす受けふもりの日
 なるらん佛法ニハ明日トイフコトナシトイハレシモ即此
 事ナリ能ク此ノ道理ヲキマヘテ心大切身ヲ大事ニナ
 スベシサリナガラ无常无我ノ中ニテ成ルベク寝起スベシ
 是我等ノ怨敵タル迷ヲ破ノ策ノ至レルモノナリ
 西方合論ニ云ク經ニ云ク如來一大事ヲタメニ世ニ出現ス

大事ハスナハチコノ事ナリ、衆生種種ニ反ツテ、コノ毛頭
 バカリノ事ヲ戀ウ小チ以テ大ニ易ヘ、瘦死ニ甘心スルハ何
 ツヤト、
 李卓吾淨土決曰、古人ノ句ニイハク、老ノ來ヲ待テ方ニ道ヲ
 學コトナカレ、孤墳多ハ是少年ノ人ト、
 出耀經曰、老壽ヲ死スルモノハ、若ハ一、若ハ二、少壯テ死スル
 モリハ、アケテ計ヘカラスト、
 陸潛ガ挽歌リ辭ニ曰、生有バ必死有リ、早終命ノ促ニハ非ス、
 而若ハ同シ、入爲リ、今且ニハ鬼錄ニ在リト、
 涅槃經曰、下ニ水泡ノ速ニ起リ速カニ滅スルガ如シ、往
 來流轉スルコト猶車ヲ輪ソゴトシト、五无反復經ニ曰ク、生
 死自ラ去ル、誰カ之ヲ止シ、其本業ニ隨ヒ、獨進退ス、一家ニ會

吞スルハ、宿縁ニ由ル、死也常ナシ、會ハ離ナリ、夫婦相會モ須
 臾ノ間ナリ、飛鳥暮ニ來テ高樹ニ栖、擾々聲ヲナス、明且各自
 ニ飛去ガ如シ、取意
 ○涅槃經曰、一切ヲ諸ノ世間、生アル者ハ、皆死ニ歸ス、壽命量
 ナキカ如シトイヘドモ、必ス盡ルコトアリ、夫シ盛ナルモノ
 ハ必ス衰ハ、合ハ別ナリ、壯年ハ、久ク傳ラス、盛色ハ、病ニ侵ル
 命ハ死ノ爲ニ看マレ、法ヲ常住ナルモノアルコトナシ、諸ノ
 主自在ヲ得テ、勢力雙ナキモ、一切皆遷滅ス、三界皆无常ナリ、
 諸ノ欲皆无常ナリ、取
 禮讚曰、時光遷流、轉忽至五更、夜无常、念念至恒、與死王居
 坐ハ、老病ヲ病ヲ、光澤ヲシ、死スレハ、神ヲ、親屬別離ス、
 覺悟經趣意

人ノ身ハ土ニテ作レル器ノ如シ、雪ニテ作レル人形ノ如シ、
 カナラズヤブレルナリ、
 人ノ命ハ河ノ瀬ノ往テカヘラザルガゴトシ、ユクモノハ還
 ラス、生アルモノハ日夜ニ死出ノ山路ニ近クナリ、
 常ナルモノハ皆盡ル、高キモノハ亦オツ合バハナル、コト
 アリ、生アルモノハ死ヌルナリ、
 是身何ノ用ゾ、恒ニ臭チ漏スノ處ナリ、病ノタメニクルシメ
 ラレ、老ト死ノ患アリ、壽命ハ常ナシ死ノ爲ニセメラレシト
 キニハ、子モタノミニナラス妻モタノミニナラス唯一人逝
 クナリ、
 心地観經ニイハクコノ日スデニ過ク命隨テ滅少ス、牛ヲ率
 ヒテ彼ノ屠所ニイタルガ如シ、漸々死ニ近キテ、ノガレ避ク

ル所ナシ、

法句經ニ云ク一ニハ少壯ナル者ハ老ニ歸ス二ニハ強健者
 モカナラズ死ス三ニハ六親娛會ル者ハ別離ス四ニハ財寶ヲ
 積テモ終ニ分散ス、

西行歌

とし月をいかで我身にねくりけん
 さの虫の人も今日はなき世に

○ 順徳院天皇御製
 さく度に哀れとばかり云すて、幾世の人の夢を見るらん
 ○ 中納言定家

世の中は市のかりやの只しばし残る人なき夕ぐれのりら
 紀朝臣貫之
 あすしらぬ我身と思へどくれぬ間の今日は人ころかなし
 かりけれ
 慈鎮和尙
 さのふみし人はととへは今日はなし明日又誰かわれをと
 くらん

明治廿四年七月廿七日印刷
 同 廿四年八月三日・出版 (定價金五錢)

著作者 永井龍潤
廣島縣平民 兼發行人

廣島縣廣島市字寺町
 廿三番地正善坊住職

筆記者 武田大寶
廣島縣平民

廣島縣廣島市字寺町
 廿三番地正善坊寄留



印刷兼 末田恕之助
廣島縣士族

廣島縣廣島市字橋本町
 五十番邸

